いっちん子ども自然塾 10月度活動報告

活動の目的 農作業歳時記に従って、子どもたちに年間を通じて農作業を体験し、森の草木や生きものを 観察し、自然とかかわることの楽しさを味わい、自然環境の大切さを学習してもらう。

- 1. 開催日時 2023年10月8日(日) 10時~14時30分 曇り(正午頃小雨)
- 2. 参加人数 参加者 16名 (欠席4名) 参加スタッフ 13名
- 3. 行事内容 1 農作業:稲刈り、結束、稲架かけ、焼き芋つくり
 - 2 森の管理:クリ拾い
 - 3 森の学習;バッタの観察と学習

4. スケジュールと活動概要

10:00-10:15 挨拶、本日のスケジュール説明と注意事項

10:15-10:55 「稲の一生」の学習、ふれあいの田圃にて鋸カマで稲刈り(位置を分散して)

10:55-11:45 休憩し水分補給。結束と稲架かけを実施。

11:45-12:00 小休止後、クリ拾い(その後小雨降り出す)

12:00-12:50 昼食、ふかしイモとカキを試食、子どもの自由時間。

12:50-13:05 焼き芋を準備し、おき火状態の炉に投入(30p)。

13:15-14:20 バッタ・コオロギを捕虫し、数匹のバッタを観察し特徴を比較した。

14:20-14:30 今日の振り返り、次回のお知らせと注意事項

5. 活動補足と所見

- ・稲刈は、14人×3列と三角地帯のすべての稲を刈った。
- ・二人一組になり、結束に挑戦した。ジュート紐も用意したが、ほぼ全員がわら縄で結束できた。 稲架掛けは、手伝ってもらいながらも背伸びして7-3程度に振り分けて掛けることができた。
- ・クリは、トングを使ったり、靴ではさんだりしてイガからとりだした。イガから出たクリも多数拾った。
- ・試食用に準備したふかし芋とカキは、少しずつだったが美味にて、子ども達全員に好評だった。
- ・焼き芋は、濡らした新聞紙でくるみ、アルミホイールでつつむ。炉に投入しおき火と灰で囲む。 30p程度を等間隔に並べ、45分~60分~70分にて焼き加減を見ながら取り出した。
- ・捕まえたバッタの特長を観察し較べて、なんの種類のバッタかを発表した。
- ・お土産は、焼き芋大1か小2ケと、ナマの丹波クリ150g程度(一人当たり)となった。

6. 活動風景

「稲作と稲の一生」の学習



結束



稲刈り





